EZH2 遺伝子変異解析	P000042
	担当部署
EZH2	病理

検査オーダー

患者同意に関する要求事項		該当なし
オーダリング手順	1	サイボウズ→ファイル管理→54．病理診断科→遺伝子解析依頼申請書→ ※専用依頼書が必要
	2	
	3	
	4	
	5	
検査に影響する臨床情報		１）10%中性緩衝ホルマリンの固定時間が６時間未満 48 時間以上　２）未染スライドで６週間以上放置されていたもの　３）コーティング加工がされていないスライドガラス
検査受付時間		8：15～16：00

検体採取・搬送・保存

患者の事前準備事項	手術、及び内視鏡、穿刺等の侵襲的検体採取では様々な準備が必要となるため、各々の担当医師、担当看護師等の指示に従う。
検体採取の特別なタイミング	治療の前

検体の種類		採取管名	内容物	採取量	単位
1	未染スライドガラス	スライドケース	無	5	枚
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					

検体搬送条件	室温
検体受入不可基準	オーダーがない。
保管検体の保存期間	パラフィンブロック：半永久 ＊保管検体から再検査をオーダーする場合は要連絡

検査結果・報告

検査室の所在地	病院棟 3 階　病理診断科				
測定時間	7～11 日				
生物学的基準範囲	該当なし				
臨床判断値	変異ありもしくは変異なし				
基準値				単位	該当なし
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値
該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
パニック値	高値	該当なし			
	低値	該当なし			
生理的変動要因	該当なし				
臨床的意義	本検査は、濾胞性リンパ腫　（Follicular Lymphoma）における EZH2 阻害剤「タゼメトスタット（商品名：タズベリク®）に関して適切な投与を行うための補助に用いる検査です。 濾胞性リンパ腫は、非ホジキンリンパ腫のうち 10～20%を占め、びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫（DLBCL）に次いで 2 番目に多い疾患です。一般的に、年単位で進行が進む「低悪性度（インドレント）」に分類され化学療法への感受性も高いですが、再発を繰り返すのが一般的となっております。5 年で、10%ほどが「中・高悪性度（アグレッシブ）」に進展するという報告があります。濾胞性リンパ腫患者のうち、7～27%に EZH2 遺伝子の変異が確認されております。				